

第47回日本映画祭の開催

平成25年1月17日
在ユジノサハリンスク総領事館

在ユジノサハリンスク総領事館は、1月24日（金）～29日（水）の日程で第47回日本映画祭を開催致します。本年は、映画館「オクチャブリ」（収容人数：814人）の工事に伴い、会場が「コムソモーレッツ」（収容人数：197名）となっておりますのでご注意ください。映画は、日本語音声のフィルムにロシア語字幕を付して上映します。なお入場は無料ですが、入場整理のため、1月17日（金）より「コムソモーレッツ」窓口にて配布予定の整理券を前もってお受け取りください。当日、整理券が無い場合であっても空席があれば入場することができます。

上映スケジュール及び内容は下記のとおりです。

記

1. 実施会場：ユジノサハリンスク市、商業映画館「コムソモーレッツ」
（住所：サハリンスカヤ通り52）
2. 上映スケジュール

1月24日（金）

開始時間：18：20～（18：00より開会式を開催いたします）

上映作品：「しあわせのパン」（2011年、114分）

監督/脚本：三島有紀子

出演：原田 知世 | 大泉 洋 | 森 カンナ

あらすじ：北海道の实在のパンカフェをモデルにしたハートフルドラマ。経営者夫婦と来訪者たちの日常を、四季の風景や料理シーンなども盛り込んで温かく描く。監督・脚本はNHKのドキュメンタリーを多く手がけ、本作が長編映画デビュー作となった三島有紀子。東京から洞爺湖のほとりに移住し、宿泊施設付きのパンカフェを始めた水縞（大泉洋）とりえ（原田知世）。穏やかで働き者の彼らは、店を訪れる訳ありの人々を笑顔でもてなす。

1月25日(土)

(1) 開始時間：11:40～

上映作品：「こま撮り映画 こまねこ」(2006年, 60分)

原作・監督・キャラクターデザイン:合田経郎(「どーも」の作者)

プロデューサー:吉田博昭 | 三宅澄二 | 松本紀子 | 渡邊直子

あらすじ:「はじめのいっぽ」

こまちゃんはこま撮りするネコなので、今日も一生懸命にこま撮りをしています。ストーリーを考えて、絵コンテを描き、お人形や背景も作って、さあ！8ミリカメラで撮影を開始するのですが・・・ハエが飛んできてアクシデント発生！こまちゃんは無事、撮影できるのでしょうか？

「カメラのれんしゅう」

お気に入りの8ミリカメラで野原の撮影をするこまちゃん。撮影に夢中なこまちゃんに、幽霊がいたずらしようと、こっそり忍び寄ってきます。

「こまとラジボー」

壊れたラジオの修理にやってきた、ラジボーとラジパパ。ラジボーは機械いじりが大好きな男の子。ラジパパの修理が終るまで、こまちゃんと一緒になにやら作り始めたようです。こまちゃんに、素敵なお友達ができました。

「ラジボーのたたかい」

ラジボーは飛行機のラジコンで鳥とたたかいます。あの手この手を使うのですが、なかなかやっつけられません。あきらめて鳥と仲直りするラジボーですが・・・。

「ほんとうのともだち」

ピクニックに出かけたこまちゃんは、雪男と遭遇してしまいます。最初はびっくりして逃げかえりますが、失くしたお人形をおうちまで届けてくれた雪男にどうしてもあいたいと思うこまちゃん。こまちゃんは雪男に会えるのでしょうか？そして雪男の正体とは？

(2) 開始時間：13:00～

上映作品：「ALWAYS 三丁目の夕日 '64」(2012年, 142分)

監督:山崎貴

出演:吉岡秀隆 | 堤真一 | 小雪

あらすじ:昭和39年(1964年)——東京オリンピックが開催されるこの年。オリンピックを控えた東京は、ビルや高速道路の建築ラッシュとなり、熱気に満ち溢れていました。そ

んな中、東京下町の夕日町三丁目では、5年前と変わらず、個性豊かな住民たちが元気に暮らしています。

小説家の茶川竜之介(吉岡秀隆)は、ヒロミ(小雪)と結婚し、高校生になった古行淳之介(須賀健太)と3人で仲良く生活していました。茶川商店の一角は改装され、ヒロミがおかみを務める居酒屋「新山藤」ができています。ヒロミは身重で、もうすぐ家族が一人増える様子。茶川は、「冒険少年ブック」の看板作家として、連載を続けていますが、新人小説家の作品に人気を奪われつつありました。編集者の富岡(大森南朋)から、「もっと新しい雰囲気」と言われた茶川は、またまたスランプ気味……。

一方、鈴木則文(堤 真一)とその妻・トモエ(薬師丸ひろ子)、一人息子の一平(小清水一揮)、住み込みで働く星野六子(堀北真希)が暮らす鈴木オートは、順調に事業を拡大し、店構えも立派なものに。六子にも後輩の従業員ができ、厳しく指導をする姿はすっかり一人前。彼女無しでは鈴木オートの仕事は回らないほどです。そんな六子は、毎朝おめかしをして家を出て行きます。それは、通勤途中の医者・菊池孝太郎(森山未来)とすれ違い、朝の挨拶をかわすためでした。六子のほのかな恋心を温かく見守るのは、大田キン(もたいまさこ)。そして、小児科医・宅間史郎(三浦友和)は、今日も町の人のために診療を続けています。

そんな折、茶川が隠していた、とある電報をヒロミが見つけてしまいます。果たして電報の主は誰なのでしょう？ また、新人小説家の意外な正体とは？ 一方、六子の恋の行方は？そして、三丁目の人たちにはどんな未来が待ち受けているのでしょうか？

(3) 開始時間：15：45～

上映作品：「真夏の夜の夢」(2009年、105分)

監督：中江裕司

出演：柴本幸 | 蔵下穂波 | 平良とみ

あらすじ：沖縄・世嘉富島。森の奥にある大木の上で、島を祝福する守り神である精霊・キジムンたちが、三線を弾きながら物語歌を歌っている。キジムンのマジルー(蔵下穂波)はキジムンの王タンメー(平良とみ)に、なぜ人はなんでも忘れてしまうのかと尋ねる。キジムンは、人間に忘れられたら生きていけない定めだった。

東京で暮らしていたゆり子(柴本幸)は不倫の恋に疲れて、故郷である世嘉富島に帰ってくる。さんかく山がそびえ、緑豊かなこの島は、幼いころ、カマドおばあと暮らした場所だった。最近では島を出る家が多く、キジムンたちはさびしがっていた。島

では、村長の息子の結婚式を控えていた。しかしこの結婚は、島のリゾート開発で大儲けしようと企む村長が考えた政略結婚だった。島の青年会の男たちは、結婚式で披露する芝居『大琉球王国由来記』の稽古をしていた。男ばかりで稽古に身が入らなかった演出の昭彦は、ゆり子を芝居のヒロインにしてしまう。しかし、ゆり子の不倫相手・敦や、その妻・梨花がゆり子を追ってきて、小さな島は大騒ぎになる。

そんななか、ゆり子はマジルーと再会する。キジムンは誰にでも見えるものではなかったが、幼いころのゆり子はマジルーの姿を見ることができ、2人は永遠の友情を誓ったのだ。マジルーはゆり子を恋の苦しみから救うために、目を覚まして最初に見たものに恋してしまう秘薬を使う。

ところが、村長の息子が結婚相手に逃げられ、ゆり子は身代わりの花嫁にされてしまう。一方、琉球王朝の末裔が住むこの島を祝福するという使命を持ったマジルーは、島民全員が集まる結婚式で彼らを祝福しなければならなかった。島の人々の心を取り戻すために、ゆり子とマジルーは協力する。

(4) 開始時間 17:45～

上映作品：「ニンゲン合格」（1998年、109分）

監督・脚本：黒沢清 撮影：林淳一郎 音楽：ゲイリー芦屋

出演：西島秀俊 | 役所広司 | 菅田俊 | リリィ | 麻生久美子 | 哀川翔 | 洞口依子 | 大杉漣
| 鈴木ヒロミツ | 豊原功補

あらすじ：黒沢清が初めて“家族”というテーマに取り組んだ一編。と言っても、鬼才として名高い彼が独特なリアリズムを込めて撮った作品だけに、家族の愛や絆を高らかに謳う通常の家族劇からはかけ離れている。

交通事故で昏睡状態に陥った吉井豊が、10年ぶりに病院で目を覚ます。とりあえず郊外の実家に帰ってみると、そこには家族は誰もおらず、父の友人と称する中年男の藤森が気ままに釣り堀を経営していた。何もかもがピンとこない豊は、ある日、一頭の馬がさまよい込んできたことをきっかけに、かつて家にあったポニー牧場を再建しようとする。“崩壊しなければ再生もしない”という監督の言葉通り、離散していた両親や妹が主人公の元に集まり、またいつの間にかバラバラに散っていく不思議なようでリアルな家族の光景を描いていく。

1月26日(日)

(1) 開始時間：11:00～

上映作品：「武士道シックスティーン」（2010年，109分）

監督：古厩智之

原作：誉田哲也

脚本：大野敏哉 | 古厩智之

出演：成海璃子 | 北乃きい

あらすじ：磯山香織は、厳格な父のもとで剣道一筋に生きてきた中学チャンピオン。幼い頃から負け知らずだったが、とある大会で「東松学園甲本」の垂れゼッケンをつけた同学年の選手にリズムを狂わされ、まさかの敗戦を喫してしまう。

半年後。「甲本」を追って剣道の名門、東松学園の女子高等部に入学した香織は、初日の稽古で因縁の敵に再会する。ところが、両親の離婚により苗字が「西荻」に変わっていたその敵は、すっかり腰が引けており、ヘラヘラと逃げまどうばかり。拍子抜けした香織は苛立ちながらも、何とか西荻早苗の本来の強さを引き出そうと奮闘する。ついには父の道場に連れてきて半ば無理矢理にマンツーマンの稽古をつけ始めた。西荻早苗は、純粋に剣道が好きで、自分が楽しむために剣道を続けてきた少女。かつて科学者の父親が裁判に大負けして家族の暮らしが一変したという経験を持ち、勝ち負けにはこだわらないようにしている。

そんな早苗にとって、勝つことしか頭がない香織は理解不可能だ。上級生を容赦なく撃破したり、休み時間には一人、鉄アレイを片手に読書一宮本武蔵の「五輪書」—にいそしむ香織は完全に周囲から浮いていた、自分とあまりにもちがう香織に興味を抱くようになった早苗は、修行の一環と称して、ケーキバイキングやゲームセンターに誘い出す。今まで全くそのような場所へ行ったことのなかった香織は不承不承ながらも着いて行くのだった。

やがてインターハイの関東地区予選に向けて、香織は先鋒（団体戦で5人中一番先に戦う者）に、早苗は補欠に選ばれる。大会当日、順当に勝ち進む東松だったが、試合の合間に香織と早苗は口論になり、ふとしたはずみで香織が手首を捻挫してしまう。補欠の早苗が打った、「邪心のないメン」は見事に決まり、インターハイの出場が決定する。

早苗の「メン」をたたえながら、その日を境に香織の心情に変化が起き始めた。インターハイまで1月を切った。戦う理由を見失った香織は、怪

我が完治しても稽古をさぼり、ついにレギュラーから外される。一方の早苗も、負けるのが怖くなり、今までのように無心で打つことができなくなっていた。何のために剣道を続けるのか、どうして勝敗にこだわるのか。答えを見つけようとしてもがく二人。そして……決着をつけるため、早苗は香織に果たし状を突きつける！決戦の日。巖流島を思わせる小高い丘で待つ早苗。はたして香織は現れるのか？

(2) 開始時間：13：10～

上映作品：「こま撮り映画 こまねこ」(2006年, 60分)

(3) 開始時間：14：30～

上映作品：「しあわせのパン」(2011年, 114分)

(4) 開始時間：16：45～

上映作品：「真夏の夜の夢」(2009年, 105分)

1月27日(月)

(1) 開始時間：13：00～

上映作品：「ALWAYS 三丁目の夕日 '64」(2012年, 142分)

(2) 開始時間：15：45～

上映作品：「武士道シックスティーン」(2010年, 109分)

(3) 開始時間：18：00～

上映作品：「しあわせのパン」(2011年, 114分)

1月28日(火)

(1) 開始時間：13：00～

上映作品：「しあわせのパン」(2011年, 114分)

(2) 開始時間：15：15～

上映作品：「ニンゲン合格」(1998年, 109分)

(3) 開始時間：17：25～

上映作品：「武士道シックスティーン」(2010年, 109分)

1月29日(水)

(1) 開始時間：13:00～

上映作品：「こま撮り映画 こまねこ」(2006年, 60分)

(2) 開始時間：14:20～

上映作品：「真夏の夜の夢」(2009年, 105分)

(3) 開始時間：16:25～

上映作品：「ALWAYS 三丁目の夕日 '64」(2012年, 142分)

○お問い合わせ：在ユジノサハリンスク日本国総領事館

電話(4242)72-60-55, (4242)72-55-30

以上